

吉見裁判の経過と現状

いま
第3回「歴史から現在を考える集い」
主催：日本史研究会

講演者 吉田裕氏（一橋大学大学院社会学研究科）

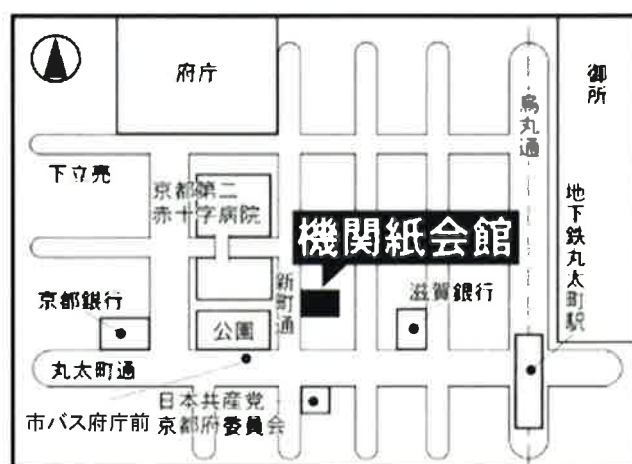
2013年5月27日、社団法人日本外国特派員協会において、吉見義明『従軍慰安婦』の内容は「捏造」であると発言した桜内文城衆議院議員を、同書の著者である吉見氏が名誉毀損で訴えた裁判はいまも継続している。国際社会への情報発信の機会に、「慰安婦」問題が胚胎してきた論点の一つである強制性がいまだ俎上に載せられ、その実証性が司法の場で争われる事態は、問題が現在迎える局面を象徴している。

いま
第3回を迎える「歴史から現在を考える集い」では、この「吉見裁判」について、吉田裕氏に、裁判の経過と現状を報告いただく。

～ お問い合わせは、日本史研究会事務局(075-256-9211)まで～

会場
機関紙会館5階大会議室
(京都市上京区新町通り
丸太町上ル東側)

アクセス
◆京都市営地下鉄
「丸太町」駅
2番出口より徒歩5分
◆京都市バス
「府庁前」停留所すぐ



二〇一四年一月二五日(土)
午後二時～午後四時三〇分

入場無料